

フリースタイルな

仏教の未来に
挑戦する情報誌!!

僧侶たちのフリーマガジン

特集

ややデュープな法話

「経教はこれを喩ふるに鏡の」とし」

マンガ お坊さん日和。第13話「さよなら!? みつあきくん(前編)」
しりとり法話バトル 第7回「ツッコミ」
4・5月の仏教イベント情報

www.freemonk.net

34

ややデーブな法話

「経教はこれを 喩ふるに鏡のごとし」 34

お坊さんといえば、一つには「お経を読む」イメージがあると思います。「そもそも、お経を読む意味って何なの?」「お経って、具体的にどんなことが書かれてるの?」「このような疑問を持たれた方もいらっしゃるかもしれません。

このことについて、中国の高僧、善導大師というお方は、次のように示されています。「経教はこれを喩ふるに鏡のごとし(お経に説かれた仏さまの教えは、喩えるならば、鏡のようなものだ)」「鏡とは、自分の姿を映し出すものです。また、「あの人には教師の鏡だ」ということもあるように、鏡には「模範・お手本」という意味もあります。つまり、お経を読み尋ねることで、仏教ならではの「今の自分の姿」と「あるべき姿」とが知らされる、という意味の言葉です。

今号では、「つた二つの」鏡の意味を持つお経には、どのようなことが説かれているのか、その一端を一緒に聞かせていただけたらと思います。

文／若林唯人
text: Tadao Wakabayashi

*今回は、浄土真宗の立場に基づいた法話です。浄土真宗に独特の言葉遣いもそのままにしてあります

小誌を手にとつていただいで有り難うございます。若林唯人と申します。「南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏」とお念仏を称える、浄土真宗という宗派の僧侶です。私服の時に初めてお会いした方と仕事の話になり、「僧侶なんです」と言うと第一に驚かれます。そして二言目には「髪の毛を剃らなくていいんですか？」と問われます。お肉もいただく。お酒もたしなむ。恋愛もするし家庭も持つ。一般にイメージされるような僧侶像とは違い、生活は皆さんと変わりません。「それで僧侶って、いいんですか」と疑問を持たれたり、「楽してるな」と思われるかと思いますが、皆さんと同じように、これはこれでなかなか大変です。というのも、仕事や結婚、そこでの人間関係など、世間の中でこそ、色んな苦しみや悩みが生じてくるからです。浄土真宗は、そうした世間の中で歩む仏道なんです。

「人生は苦なり」とお釈迦さまは説かれました。この「苦」とは、元は「思い通りにならない」という意味で、代表的なものとして、愛別離苦（愛する人と別れていかなければならない苦しみ）、怨憎会苦（怨み憎む人と会わなければ

ならない苦しみ）、求不得苦（求めるものが得られない苦しみ）などが特記されています。初めて聞いたときは「なんてネガティブな教えなんや」と思ったのですが、でも自分が苦悩の最中にあるときは「ほんまそうやわ…」と身に沁みます。

苦しみや悩みの原因は何か。お経には、それは「煩惱」だと説かれています。ふつう苦しみの原因というと、「上司のせいだ」とか「彼氏のあの性格が」というように、自分の外側に原因を求めることが多いと思います。でも仏教では、自分の内側にある「煩惱」が原因だというんです。自分の内側に目が向く。ここがおもしろいところだなと思うし、厳しいところだとも思います。

煩惱は一〇八あるといわれますが、その根本にあるのは「貪欲」「瞋恚」「愚痴」という三つの煩惱で、これらは毒に喩えられて、合わせて「三毒」ともいわれています。「貪欲」とは、自分に都合の良いことを求め続けて「足るを知らない」欲の心、「瞋恚」とは、自分に都合の悪いことに腹を立てて、相手に変化を迫る怒りの心です。環境を変えても結局、これらの煩惱の



しわざで、有り難さは当たり前となつて背景に退いていくし、苛立ちと不満は顔を変えて前景に躍り出てきます。

学生時代を思い出します。うちは家族が口うるさいんです。特に中高生の頃は、嫌気がさしてしまいました。「風呂わいたで」「分かつてる」「分かつたんやつたら早よ入り！」とかね。ちよつと着替え始めたら、「どこ行くのん。帰り何時になるんや」そう言われる度に、「うるさいなあ！ほつといてくれ！」と返していました。大学時代、一年間だけでしたが、一人暮らしをさせてもらえることになった。「やつと解放される」と思つて喜んでるのを覚えてます。

今ある幸せに感謝する。これができたら。そう思います。でも、つい不満が口を突いて出てしまふんですよ。また、怒るときには、たいてい相手に「変われ」と要求していると思えます。「うるさい！」も、そうですね。あるご法話で、「変われ」というのは愛のない言葉。「そのままがいい、私が変わる」というのが愛のある言葉だと聞かせていただきました。変われではなく、変わる。そうありたいと思いつながら、なかなかできない自分がいます…。

そして、最も根本にある「愚痴」とは、良い／悪い、好き／嫌いなどの「自分の価値判断」を「ふつう」で「正しい」と思い込んでいる心です。

私は、自分の都合で価値判断をしていると思えます。自分の考え方に合う人は「良い人」だと言い、合わない人は「ものの分からん人」だと言う。好きな人も、都合が悪くなれば途端に、嫌いな人に変わります。ちよつと多めにお小遣いをくれるときは好きなおばあちゃん、口うるさいときは嫌いなおばあちゃんでした。「こうあるべきだ」という価値判断もありますね。ケンカになるとき、正しいのは

自分で、おかしいのは相手、間違っているのは相手と思つてしまつています。上司にしても恋人にしても、「こうあるべきだ」という強い思いがあることで、自分の苦しみも倍増するんだと思えます。

こうした三毒に代表される「煩惱」が、自分を苦しめ、他人をも苦しめる。このように、お経には説かれているのです。

「そうはいつても、欲が無いと生きていけないし、怒るべきときには怒るべきだ。自分の考えを持つことも大切なことじゃないか」と思われる方もおられると思えます。

では仏教はなぜ、煩惱を、煩悩悩むものとして問題にするのか。ここには仏教ならではの事情があります。ある目的を持ったときに、問題になる。その目的とは、成仏、仏に成ることです。このことを善導大師というお方は、次のような喩えを用いて説明されています。

「たとへば人ありて西に向かひて百千の里を行かんと欲するがごとし。忽然として中路に二の河あるを見る。一にはこれ火の河、南にあり。二にはこれ水の河、北にあり」

「火の河」と「水の河」は、「烈火のごとく怒る」「欲に溺



れる」という表現もあるように、煩惱を代表して「瞋恚」と「貪欲」を喩えられたものです（表紙は、この「二河白道」と呼ばれる譬喩をイメージしました）。「西に向かう」、つまり、お浄土に往生し「仏に成ること」を目指したとき、突然「煩惱」が障害として出現し、行く手を阻むことを喩えられたのです。

ただ、仏に成ることを目指すといつても、そのゴールは、自分の煩惱が減し、自身の苦悩がなくなるのではなくて、

人々の苦悩を取り除き、人々に安心を与える存在になることです。節分のとき「鬼は外、福は内」と言つて豆を撒きますね。ここで言う鬼とは自分にとつて不都合なこと、福は好都合なことだと思います。仏さまは真逆で「鬼は内、福は外」と言われる。苦しみに共感し、その苦しみを自分が引き受け、幸せを恵み与えて、幸せになつた姿を見て喜ぶ。そういうお方です。

正直、しんどいことだと思います。例えば、電車で席を

譲るということにしても、その方に楽になつていただくためには、自分がしんどい思いをしなければなりませんね。隣りの人に「前の人に席譲つたらどう？」と言えば、「いやいや、あんたが譲りいな」とツッコミが入る。席を譲つたり、愛する我が子に対してならまだしも、自分を攻撃してくる人に対しては、至難だと思えます。でも、仏さまはそうじゃない。すべての人に対して、私のように自分の都合で態度を変えることはない。すごいことだなと思います。

冒頭で「南無阿弥陀仏」と

お念仏を称えると申しました。が、その「南無阿弥陀仏」という言葉のベース的な意味は、「阿弥陀仏という仏さまを尊敬し、帰依いたします」というものです。仏さまのあり方に感動し、尊敬して、仏に成ることを目指したとき、「都合の悪いことは他人に押し付けてでも、都合の良いことは手に入れようとする」この私のあり方は、克服すべきものとして自覚されます。そして、それを克服できない自身の現実に向直し、自己中心的な欲や怒りがあることに「煩い悩む」から、「煩惱」

と言われたのでした。

お経に説かれた「仏さま」のあり方を「鏡」とするとき、そこに映る「私」は実に、恥ずかしい姿をしていると思えます。

鏡を見て、寝癖があることを知れば「恥ずかしいな」と直そうとするように、仏さまを目指し、煩惱をなくしようと努め励む。これが仏教徒に共通する生き方です。ただ、山の頂上は一つだけ登るルートは複数あるように、成仏に到る道程は宗派によつて違います。では、浄土真宗ほどのような仏道なのか。私は、お経が一言につづまった「南無阿弥陀仏」という「鏡」と共に生きる仏道だと感じています。

『仏説無量寿経』というお経には、阿弥陀仏の修行時代の物語が説かれています。煩惱をなくすることができず、あるいは煩惱をなくそうともせず、苦しみ悩む人々に、阿弥陀仏は「変われ」「修行をして悟りなさい」とは求められなかった。逆に、そうした人々を浄土に生まれさせて仏に成らせるために、自分が「変わる」と誓われ、何兆年もの間ご修行されて、そしてその修行の功德のすべてを「南無阿弥陀仏」に込められた。「こ

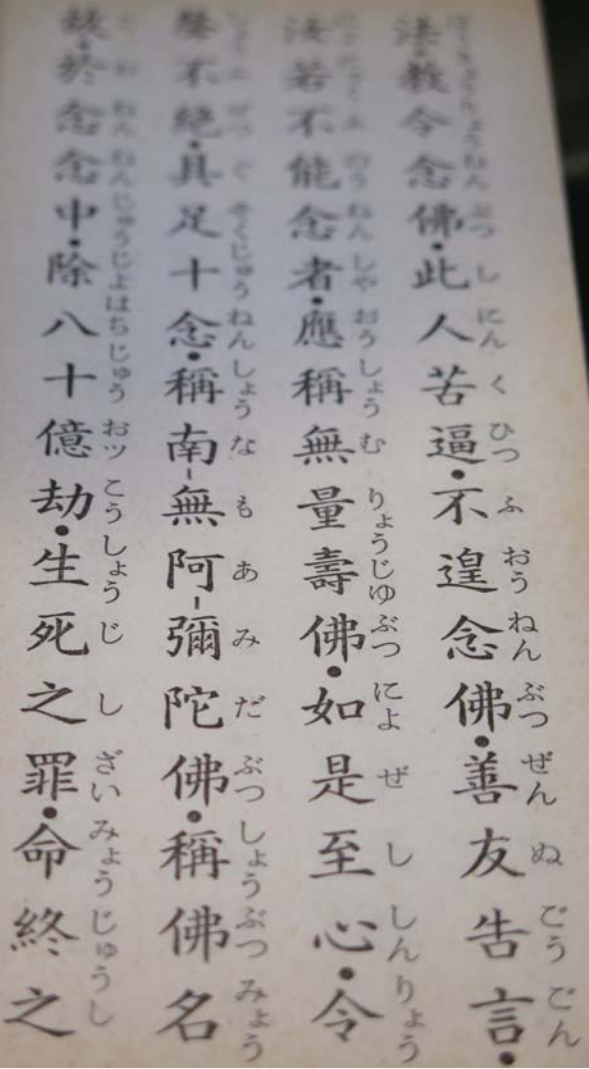
の南無阿弥陀仏一つで、お前を仏にする。だから安心してくれよ」と私に言つてくださっている。阿弥陀仏が私を仏にしてくださる。このように説かれているんです。

だからといって「阿弥陀仏の力で仏に成れるんやから、あとは好き勝手に生きよう」とは、思いそうだけと思えません。阿弥陀仏が何兆年もご苦労くださったのは、それほどまでに私の煩惱が深いからでした。重いですよ。ものすごく重い。ありがたいと同時に、申し訳なくて、恥ずかしい。そう思います。だからこれからは、その御恩に感謝し、少しでも報いることができるように、少しでも仏さまらしく生きていくように努力したいと思う。大学に行かせるために、父親が朝から晩まで身を削つて働いてくれる。その苦勞を思うと、遊び呆けてたらあかんよな。頑張つて勉強しないと。という感じ

です。父親のような存在は、いつか自分の元を去ってしまうと気が来るけど、仏さまは去らない。阿弥陀仏という仏さまは、いつも「南無阿弥陀仏」というお念仏の声なつて、私と一緒にいてくださいます。

お念仏は、いつでもどこでも称えられる。だから、重くて、厳しい仏道だと思ふんです。「南無阿弥陀仏」という「鏡」で、いつでも仏さまを感じ、いつでも自身の姿を省みることもできるからです。

でも同時に、安心もあります。いかに煩惱が深くとも、「お前を必ず仏にするから安心してくれよ」と、自分を支えてくださる存在を、今も、そしていつでも感じられるからです。仏になつて成りたくない。これが本心の私なのに、そうした絶対的な支えがあるという安心の中にいるから、まだ「鏡」に向き合おうと思えるのかなと思います。そして、仏さまは私に「あとは安心して、少しでも仏を鏡として生きてくれよ」と催促されているのだらうとも感じています。



若林唯人(わかばやし・たど)

1982年生まれ。浄土真宗本願寺派僧侶。大阪市東淀川区光照寺衆徒。2015年4月より「フリースタイルな僧侶たち」代表。輪番編集長(Vol.19)。「アラサー僧侶とゆるーく話す会」のイベントなどを担当。

お坊さん 日和。

「さよなら(?)みつあきん
- ぜんげん -」
まんが
みつざわ ひろあき



へへへへ…
お兄さんそれは
悪い霊が取り憑いて
いるんデスヨ



最近調子が悪くて…
女の子にフラれたり
仕事で失敗したり…

もうすっかり
まいっちゃった



みつあきくん
元気ないね



お経を唱えたらって
良いことなかったもん!
教祖様も
仏教は良くないって
言ってるし…

ホンダラ教に入ったら
ほら!
こんなにエナジーが
あふれているんだ!



ぼく
仏教をやめて
ホンダラ教に入る!

ええええ!
なんでええく!



ホンダラ教に
興味はありますか?
お祓いしますよ

イヤイヤ!
アヤシクナイデスヨ
良いことがありますよ

ワタンがお兄さんを
救ってアゲル

大丈夫!



お金を持っていては
また悪霊が憑いて
しまいマス

ワタンが持ってて
アゲマスヨ

ココロのスキに
入り込まれてしまった
みつあきくん…
次回どうなる?



あれって
カルトじゃないの?
お坊さんの
みつあきくんが
どうして?

ココロが弱って
いるときは誰だって
危ないニヤ ココロの
スキは誰にもあるニヤ



百万円の霊物を買ったから
悪霊がどっかに
いったんだって!

ネコ吉くんもホラ
一緒にやろうよ
へへへへ…

翻訳されてこなかった日本仏教

〈英語でブツダ〉

April - May

仏陀を英訳すると「Yawakened One = 真理に目覚めた人」、煩惱は「Bored Passion = 目をくらませる欲望」、業は「Action = 行為」。なるほど、英訳をするとかなり感覚で捉えていた仏教用語の本来の意味がハッキリと浮かび上がる。

米国留学経験があり、現在は僧侶の傍ら通訳や翻訳を副業とする著者は「英訳を通すことで仏教用語がわかりやすくなる」と謳う。

英訳とは単にその言葉を英語に当てはめたり、変換することではない。英語圏の人々が、なるべく細かな意味合いまで感じ取れるよう、文化的

背景も考慮しながら繊細に言葉配して説明をする。

現在使われている仏教用語は、中国で音訳や意訳をされ日本に入ってきたものだ。仏教の伝来から1400年以上が経ち、仏教用語はすっかり日本文化に染み込んでいくかに思える。しかし、私たちの多くがわかりづらく感じているということ、日本の仏教が日本人の生活になじむことはしてきても、きつちりと仏教を翻訳し、日本語化してこなかったことを示しているように思う。

仏教用語の意味をより理解するためにも、日本仏教のこれらを考えるにも、本書はよい梯子となるだろう。



『英語でブツダ』

大來尚順：著（浄土真宗本願寺派僧侶、通訳・翻訳家）
扶桑社：刊 1,404円（税込）

しりとり法話バトル

第7回

審査員：飯村裕理子、鳥居友依、中島まほ
Judge: Eriko Imura, Tomoe Torii, Maho Nakajima

お題

ツッコミ

「漫才」は好きですか？ それとも嫌いですか？

私は漫才が好きです。テンポよく滑稽な掛け合いの妙により笑いが起こる。いつも感じます。漫才での笑いの発生を考えてみますと、まず「ボケ」がある。しかし、それだけでは不十分で、その笑いが完成するのに欠かせないものが、それが「ツッコミ」です。

笑いは「ボケ」単独では成り立たず、「ツッコミ」があつてはじめて成り立つもの。もちろんその逆も同様です。つまり、それぞれが単独ではなく、相互依存により成立しているということ。

この世は、全てのものはお互いに関係し依存しあい成立しております。これを仏教では縁起といえます。例えば、

光と影、親と子、そして冒頭に問うた好きと嫌いさえも単独では成立しないのです。

このような縁起たる世の道理を見通すことができれば、日々の見方や捉え方が変わってくることでしよう。

そもそも、この未熟な私の文章に、熟練の方の「ツッコミ」が入りそうですが：

**「笑り」
気になる次回のお題は**

しりとり法話バトル

ウデに覚えのある僧侶たちが、毎号しりとり形式で出されるお題ののっつ法話を作り、きびしい審査によって掲載・非掲載のふるいにかけられる、フリスタ史上まれにみるサバイバルな企画。ウェブでは、残念ながら掲載に至らなかった法話と、審査員の評価を見ることができると要チェック！

www.freemonk.net

今号の勝者はこの方！

二條和順（真宗誠照寺派別院満足院）

東京都出身。元仏壇店長。今はお念仏一筋の35歳。3児の父。一般家庭に生まれ、母は敬虔なクリスチャン。そのため幼稚園はキリスト教。こんな私が仏道へ。子どもも来やすいお寺にと、「子どものためのクラシックコンサート」を毎月開催。

EVENT CALENDAR



毎回好評!!

仏教伝道協会主催イベント

新生活スタートの春、はじめてみたいこの2つ

4/14(Tue)、5/26(Tue)

働く人のための坐禅会

仕事帰りに疲れたところと頭の整理をしませんか?

お一人でも気軽にご参加ください

20:00~21:30(坐禅60分 お茶会20分) 500円 定員30名(男女不問)

講師/阿純章師(天台宗)

事前申込必要 お電話、Facebook、または<http://www.bdk.or.jp>まで。

▶仏教伝道センタービル7階「縁」の間 ☎03-3455-5851

4/23(Thu)、5/21(Thu)

仏教聖典を初歩英語で学ぶ会

新感覚の英会話レッスン! 日本人になじみ深い仏教思想を初歩英語で学ぶ4ヶ月のプログラムです(1回のみ参加も可)。鈴木大拙英訳『十牛図』を通して、禅仏教の基本的な思想に触れます。英語を通じて、日本文化の奥深さに改めて気づかされるでしょう。

18:30~20:00 500円 定員40名

講師/ステファン・グレイス氏(親鸞仏教センター囑託研究員)

テキスト/『和英対照仏教聖典』ほか

事前申込必要 お電話、Facebook、または<http://www.bdk.or.jp>まで。

▶仏教伝道センタービル8階「和」の間 ☎03-3455-5851

4/1(Wed)、5/13(Wed)

仏教ヨガ講座

Let's begin ヨガ Life!

ヨガで心と身体をととのえましょう!

19:00~20:30(坐禅60分 お茶会20分) 500円 定員25名(男女不問)

講師/Yuuka(ガッツ有香・山形県誓願寺浄土宗教師)

着替え持参(ヨガマットはご用意しています)

事前申込必要 お電話、Facebook、または<http://www.bdk.or.jp>まで。

▶仏教伝道センタービル8階「和」の間 ☎03-3455-5851



公益財団法人
仏教伝道協会
BUKKYO DENDO KYOKAI

東京都港区芝 4-3-14

Tel : 03-3455-5851

Fax: 03-3798-2758

www.facebook.com/bukkyodendokyokai

<http://www.bdk.or.jp>

E-mail: bdk@bdk.or.jp

JR「田町」駅 三田口(西口)より徒歩8分

都営地下鉄 三田線、都営地下鉄 浅草線「三田」駅 A9番出口より徒歩2分

5/16(Sat)

お寺で縁結び

伊豆のお寺から始まる ふたりの出遇い。

集合12:30 5,000円(懇親会費含む)

参加資格/お寺を大切に思える方、将来結婚をお考えの方、パートナーを探しておられる20歳~45歳くらいの独身男性・女性

※当日、身分証明書(免許証・保険証・パスポートなど)をご提示いただき、参加志納金をお納めいただきます。終了後には懇親会がございます。

申込はお名前、ご住所、性別、年齢、当日連絡の取れる電話番号をお書き添えの上、shourenji.net@gmail.comまで(4/30締切)。

▶真宗大谷派 正蓮寺(静岡県伊豆の国市南江間930)

JR東海道線「三島」駅乗り換え、伊豆箱根鉄道駿豆線「韭山駅」よりタクシーで5分

※無料駐車場あり

☎055-948-1366(平日9:00~18:00 担当/渡邊)

5/24(Sun)

東京吉縁会

お寺で開催されるからこそ安心して参加できると全国に広がりつつある「お寺婚活」=「お寺で新しいご縁を結ぶ会」を東京でも開催することになりました。この機会に男女のご縁のみならず、お寺とご縁、仏教や禅とご縁など様々なご縁を結んでいただきたいと思います。今回は水引細工体験で日本文化に触れながら自分の心を見つめながら、良縁を結んでいただきたいと思います。

受付12:30 13:00~18:00 2,000円 定員男女各20名 主催/東京禅センター

申込は4/26に同院内に設置する受付窓口にて行います。

その他詳細はお電話、または<http://www.myoshin-zen-c.jp>にて。

▶臨済宗妙心寺派 徳源院(東京都文京区本駒込3-7-14)

東京メトロ 南北線「本駒込」駅より徒歩5分

☎03-5779-3800(東京禅センター)

5/30(Sat)

手作り和綴じ御朱印帳!

和綴じ御朱印帳を手作りします。

16:00~ 500円、御朱印帳材料費2,000円 定員30名 主催/茶房えにし

申込は<https://www.facebook.com/pages/茶坊えにし/268064793312265>まで。

▶浄土宗 長寿院(東京都台東区鳥越2-5-43)

都営地下鉄 浅草線、大江戸線「蔵前」駅A3番出口より徒歩4分

4/28(Tue)、5/30(Sat)

アラサー僧侶とゆるーく話す会

アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーい会です。話のテーマは、あなたの話したいこと。仕事や恋愛、家庭のことなど、普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいことなど、何でも結構です。もちろん、単純にお坊さんと話がしてみたいという方や、気になっていることをお坊さんに質問してみたい方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。お茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか? どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

14:00~16:30 1,000円(フリスタ会員は800円)

定員10名 主催/フリースタイルな僧侶たち

申込は<http://www.freemonk.net/events>まで。

▶京町家 さいりん館 室町二条(京都市中京区冷泉町65)

京都市営地下鉄 烏丸線「烏丸御池」駅2番出口より徒歩5分



EVENT CALENDAR



4/5 (Sun)

増上寺御忌ツアー！

浄土宗の宗祖法然上人の忌日法要である「御忌大会」を浄土宗若手僧侶の案内を交えながら巡ります。

集合12:00 解散16:00 2,000円(お土産付) 定員30名 主催/茶房えにし
申込は<https://www.facebook.com/events/1061760767171528/>まで。
▶浄土宗大本山 増上寺(東京都港区芝公園4-7-35)
都営地下鉄 三田線「芝公園」駅より徒歩3分

4/8 (Wed)

らかん亭×羅漢塾「遊味会 ～メリー・シッタールタ～」

精進料理と法話で、お釈迦さまのお誕生日をお祝いします！この機会にぜひ、らかん亭の本格精進料理を味わってみてください！

受付12:00 食事12:30 3,000円 定員25名 法話/佐山拓郎師(五百羅漢寺住職)
申込はお電話、または五百羅漢寺受付窓口まで。
▶五百羅漢寺(東京都目黒区下目黒3-20-11)
JR「目黒」駅より徒歩12分、東急電鉄 目黒線「不動前」駅より徒歩8分
☎03-3792-6751(担当/堀)

4/12 (Sun)、5/10 (Sun)

子どものためのクラシックコンサート 第22回、第23回

0歳の赤ちゃんから入場できるコンサートです。もちろん大人の方でも大歓迎！第22回はチェロとピアノ、第23回はハープとチェロによるコンサートです。

13:30～14:00 高校生まで無料、大人 500円高校生まで無料
出演(第22回)/田中愛(チェロ)、村岡紗由子(ピアノ)
その他詳細は<http://www.manzo9.net/>にて。
▶別院 満足院(東京都世田谷区梅丘1-54-1)
小田急電鉄 小田原線「梅ヶ丘」駅より徒歩3分 ☎03-3429-0650

4/15 (Wed)、5/15 (Fri)

写経会

般若心経を小筆で写経していただく、オーソドックスな写経です。毎月15日(7月はお盆のため休会)に行っております。はじめての方も、道具類を貸出しますので、ご安心して参加ください。終了後、僧侶との茶話会もございます。

13:00～ 2,000円
申込は12:50までに寺務所まで。その他詳細は<http://www.rakan.or.jp/>にて。
▶五百羅漢寺(東京都目黒区下目黒3-20-11)
JR「目黒」駅より徒歩12分、東急電鉄 目黒線「不動前」駅より徒歩8分
☎03-3792-6751

4/25 (Sat)

龍雲寺ダンマトーク(法話会)

一般の皆さま向けに仏教や禅を身近に感じられる法話の集いを開催いたします。

開場14:00 開演14:30 定員100名(要予約) 講師/栗原正雄師(妙心寺派宗務総長)
演題/「無常をたのしむ」 主催/東京禅センター
申込はお電話 03-5779-3800、Fax 03-5779-3801、またはメール zen@myoshin-zen-c.jpまで。
その他詳細は<http://www.myoshin-zen-c.jp/>にて。
▶臨済宗妙心寺派 龍雲寺 本堂(東京都世田谷区野沢3-38-1)
東急電鉄 東横線「学芸大学」駅より徒歩15分 ☎03-5779-3800(東京禅センター/土・日曜休館)

4/25 (Sat)

お寺でヨガ！

浄土宗の尼僧さんガッツ有香上人をインストラクターにお招きしてのヨガ教室です。

16:00～ 500円 定員30名 講師/ガッツ有香師 ヨガマットを持っている方は持参
主催/茶房えにし
申込は<https://www.facebook.com/pages/茶坊えにし/268064793312265/>まで。
▶浄土宗 正定寺(東京都台東区松が谷2-1-2) 東京メトロ 銀座線「田原町駅」駅より徒歩8分

4/25 (Sat)、5/23 (Sat)

修養会

お念仏と法話の会です。経本を手に、皆さまに、実際に木魚を叩きながら一緒に浄土宗の勤行式をお勧めしていただきます。終了後は、法話というよりも懇談のような形で、僧侶と語る時間があります。

14:00～ 500円 申込は13:50までに寺務所まで。その他詳細は<http://www.rakan.or.jp/>にて。
▶五百羅漢寺(東京都目黒区下目黒3-20-11)
JR「目黒」駅より徒歩12分、東急電鉄 目黒線「不動前」駅より徒歩8分
☎03-3792-6751

4/26 (Sun)

オーガニックマーケット AOZORA
～お寺から始まる未来への種まき～

「オーガニックマーケットAOZORA」には全国の農家が出店。東日本大震災の被災地である、宮城、福島、岩手の農家も駆けつけ、生産者と消費者、そして飲食・小売店が一同に会した仮想商店街が圓融寺に現れます。これら、お互いの顔が見えていなかった人どうしが会うことによって、新たなネットワークが生まれます。また、いたる所で音楽やダンスなどの路上パフォーマンスが繰り広げられ、会場を盛り上げます。

9:00～17:00 主催/NPO法人 Agri-Connections
その他詳細は農民カフェ学芸大学店 ☎03-5734-1130、メール nomin@mild.ocn.ne.jpにて。
▶天台宗 圓融寺(東京都目黒区碑文谷1-22-22)
JR目黒駅(西口)東急バス(3番)大岡山小学校行(01系統)乗車15分「碑文谷二丁目」下車徒歩3分、東急電鉄 目黒線「西小山」駅より徒歩15分

5/2 (Sat)

お財布供養

年4回の天敵日に、皆さまの使わなくなったお財布を、今までの感謝を込めて、ご供養しております。供養を終えたお財布は、障がい者施設にて分解し、お焚き上げいたします。新しいお財布に入れる「金運お守り」も500円でお分けしております。

11:00～ 2,000円(お財布ひとつにつき) 申込は随時(書留などによる郵送も可)。
その他詳細はお電話、Facebook、<http://www.rakan.or.jp/>にて。
▶五百羅漢寺(東京都目黒区下目黒3-20-11)
JR「目黒」駅より徒歩12分、東急電鉄 目黒線「不動前」駅より徒歩8分
☎03-3792-6751

5/2 (Sat)～3 (Sun)

向源 —KOHGEN—

一瞬でも全てのスイッチをオフにしてリラックスして欲しい。かかりすぎている負荷に気づき、少し自由になりましょう。宗教や宗派を超えて神道や仏教が集う、世界最大級の寺社フェス「向源」は、日本の伝統文化の本質に触れてもらうことを目的としたイベントです。5回目の開催となる今年は、徳川将軍家の菩提寺である増上寺を舞台に、およそ100の体験型ワークショップや音楽ライブなどが催されます。今回新たな試みとして、ご予約なしでご来場されたお客様が楽しめるよう、お化け屋敷プロデューサー・五味弘文氏による「お坊さんも怖がるお化け屋敷」を計画。現在、実現に向けてクラウドファンディングサイト「Ready for?」にて支援を募っています。さらに、フェスの期間中の会場では仏式結婚式と神前結婚式が執り行われます。普段なかなか見ることのない、仏様や神様の前での結婚の儀を間近でご覧ください。

11:00～20:30 主催/向源実行委員会(代表/友光雅臣 副代表/青江覚峰)
ウェブサイトからチケットを購入の上、ワークショップを予約。
▶浄土宗大本山 増上寺(東京都港区芝公園4-7-35)
都営地下鉄 三田線「芝公園」駅より徒歩3分
【Web】<http://kohgen.org/>
【Facebook】<https://www.facebook.com/kohgen.jp>
【Twitter】<https://twitter.com/kohgenorg>
【Instagram】<http://instagram.com/kohgen2011/>



編集後記

「法話カフェを開いてほしいです」アラサー僧侶とゆるーく話す会にご参加いただいた方が、このようにおっしゃってくださったことがありました。

今号は、そうした法話や仏教の教えに関心を持ってくださっている方を意識して企画しました。原稿の作成にあたっては、梯實圓和上、深川倫雄和上、天岸浄圓先生をはじめ、多くの諸先生からお聞かせいただき、感動したご法話を思い出しながら執筆いたしました。他方で、超宗派の団体であるし、他宗派の方もお読みください。苦集滅道という全ての宗派に通じる教えを意識して構成しつつ、道の部分は浄土真宗の立場から書かせていただきました。意識が多方面に渡ったこともあり、紙幅に比して欲張った急展開な内容となってしまう、至らなさを痛感しております。ご意見やご感想、ご批判をお聞かせいただけましたら幸甚に存じます。末筆ながら、今号の制作にあたって、お世話になりました皆さまに厚く感謝申し上げます。おかげさまで、無事発行の運びとなりました。有り難うございました。

(第34号輪番編集長 若林唯人)

■協賛のご報告■

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆さまに厚く御礼を申し上げます。
以下に、法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

安心院(京都府八幡市 浄土宗)／安樂寺(京都府南丹市 浄土宗)／石尾山弘法寺(大阪府和泉市 真言宗)／円光寺(東京都台東区 臨濟宗妙心寺派)／延命寺(大阪府堺市堺区 浄土宗)／圓融寺(東京都目黒区 天台宗)／宜雲寺(東京都江東区 臨濟宗)／吉祥寺(山口県萩市 浄土宗)／九品寺(京都府京都市南区 浄土宗)／教安寺(福岡県福津市 浄土宗)／慶蔵院(三重県伊勢市 浄土宗)／光照院(東京都台東区 浄土宗)／光照寺(大阪府大阪市東淀川区 浄土真宗本願寺派)／光徳寺(福岡県みやま市 浄土真宗本願寺派)／光明院・田中医院(京都府京都市中京区 浄土宗西山禪林寺派)／光明寺(奈良県吉野郡 浄土真宗本願寺派)／五百羅漢寺(東京都目黒区)／金剛寺(京都府京都市東山区 浄土宗)／西明寺(兵庫県尼崎市 浄土宗)／西樂寺(京都府京都市伏見区 浄土宗)／西林寺(大阪府泉南郡 浄土宗)／浄栄寺(滋賀県東近江市 浄土宗)／正覚寺(青森県青森市 浄土宗)／浄元寺(兵庫県尼崎市 浄土真宗本願寺派)／性高院(愛知県名古屋市中千種区 浄土宗)／称讚寺(新潟県長岡市 真宗大谷派)／正善寺(兵庫県伊丹市 浄土宗)／正法寺(京都府京都市東山区 時宗)／勝樂寺(東京都町田市 浄土宗)／正蓮寺(静岡県伊豆の国市 真宗大谷派)／信覚寺(福岡県朝倉郡 浄土真宗本願寺派)／新善光寺(北海道札幌市中央区 浄土宗)／瑞聖寺(東京都港区)／瑞生寺(静岡県浜松市中区 曹洞宗)／崇福寺(滋賀県甲賀市 浄土宗)／善願寺(滋賀県甲賀市 浄土宗)／善道寺(北海道札幌市豊平区 浄土宗)／大圓寺(東京都目黒区 天台宗)／靈鏡寺(大阪府枚方市 浄土宗)／檀王法林寺(京都府京都市左京区 浄土宗)／潮音寺(東京都大島町 浄土宗)／超

覚寺(広島県広島市中区 真宗大谷派)／長壽院(東京都台東区 浄土宗)／梅窓院(東京都港区 浄土宗)／法岸寺(静岡県静岡市清水区 浄土宗)／宝皇寺(北海道函館市 真宗大谷派)／寶松院(東京都港区 浄土宗)／宝泉寺(愛知県津島市 浄土宗西山禪林寺派)／法善寺(大阪府大阪市中央区 浄土宗)／法然院(京都府京都市左京区)／法華寺(京都府亀岡市 日蓮宗)／本覺寺(神奈川県横浜市鶴見区 天台宗)／無量光寺(鳥取県鳥取市 浄土宗)／薬師院(大阪府岸和田市 真言宗)／陽岳寺(東京都江東区 臨濟宗妙心寺派)／龍雲寺(東京都世田谷区 臨濟宗妙心寺派)／龍岸寺(京都府京都市下京区 浄土宗)／緑泉寺(東京都台東区 浄土真宗本願寺派)

一般社団法人 日本石材産業協会(東京都千代田区)／遠藤新兵衛商店(京都府京都市下京区)／学校法人 鎮西学園(熊本県熊本市中央区)／株式会社 アールアンドダブリュー(京都府京都市中京区)／株式会社 京美仏像(京都府京都市北区)／株式会社 薫寿堂(兵庫県神戸市)／株式会社 作島(京都府京都市下京区)／株式会社 寺の友社(京都府宇治市)／株式会社 トラベルサライ(大阪府大阪市中央区)／京都坊主BAR(京都府京都市中京区)／茶坊えにし(東京都台東区)／寺院コム(京都府京都市左京区)／浜屋株式会社(兵庫県姫路市)／ヨシダ印刷株式会社 京滋営業所(京都府京都市中京区)

(五十音順)

フリースタイルな僧侶たちとは

●「仏教＝葬式」だとあなたは思っていますか？しかし、経典をひもといてみても、お葬式について語られていることはほとんどありません。そこには、「なぜ私たちの苦しみは起こるのか」「正しい知見を得るにはどうすればいいのか」といった「生きていくための教え」が多く説かれています。●人の心を狂わせる怖いものとして宗教が遠ざけられ、お葬式や法事は簡略化される傾向にある今日ですが、自分の弱い心にふたをして、やがてはおとずれる死から目を背けても、充実した人生はありえません。仏教の持つポテンシャルをうまく引き出し、自分自身に向き合うことによってこそ、これからの社会が確かに形づくられてくると私たちは信じています。●「フリースタイル」という言葉をかかげたのは、仏教の持つ2500年の伝統を敬いつつも、ゼロベースで日本仏教の未来を模索しようとしたことです。●本誌フリーマガジンの発行(年間6回・偶数月1日発行)もまた、その試みのひとつです。街中のカフェやバーなどで手に取った瞬間に、安らぎや気づきがあることを願って発行しています。配布にご協力いただける店舗・施設を随時募集しています。●私たちは、30歳前後の若い僧侶たちが中心になって活動しているため、「仏教の再生」のつもりが、「伝統からの逸脱」につながることも

あるかもしれません。その際には、皆さまのご指摘をお待ちし、誤りについては改めながら大胆な試みを続けていくつもりです。これからの時代を生きやすいものにするため、ご協力をよろしくお願いたします。●志を同じくする僧侶や誌面作りやイベント実施に協力していただけるボランティアスタッフもお待ちしています。まずは気軽にお問い合わせください。

サポーターズ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、応援していただける方を大募集中

協賛年会費：5,000円(個人)／30,000円(法人)

サポーターズ・クラブの皆さまには、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また各種主催イベントにおいて優待いたします。

法人会員の方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

会費振込先：三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 若林唯人

※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください

・Telでのお問い合わせ ☎050-5583-4338

・Faxでのお問い合わせ ☎050-3730-9864

・E-mailでのお問い合わせ info@freemonk.net

冬用 各宗派衣価格(税込)

● 布袍化織地	18,800円より	● 黒直綴化織地	27,000円より
● 改良衣化織地	17,500円より	● 白衣テロンウール	9,950円より
● 間衣化織地	17,500円より	● 白衣高級メガーナ京仕立	16,800円より
● 黒衣化織地	30,500円より	● 足 袋	950円より

匠のお安いクリーニング お電話お待ちしております

法衣・袈裟製造直販

丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面上(西本願寺前店)

☎0120-075-024

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

http://r.gnavi.co.jp/k024400/

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1

祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都市東山区祇園町南側555番地(祇園ホテル1F)

お念珠取り揃えております





Mama'a
**浜屋は
 関西最大級の
 お仏壇・お仏具・
 墓石の専門店です。**

やすらぎの世界を創る



浜屋

お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は
 通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル
0120-1616-94
 ●受付時間/午前10時～午後6時30分まで

関西最大級の38店舗、安心のネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ■奈良王寺店 ☎(0745)31-2211代 | ■尼崎市役所前店 ☎(06)6414-3900代 |
| ■奈良生駒店 ☎(0743)83-2211代 | ■尼崎店 ☎(06)6413-2211代 |
| ■岸和田店 ☎(072)445-2211代 | ■宝塚店 ☎(0797)83-4500代 |
| ■堺鳳店 ☎(072)261-2211代 | ■西宮店 ☎(0798)51-2211代 |
| ■藤井寺店 ☎(072)954-2211代 | ■西宮駅前店 ☎(0798)34-2280代 |
| ■駒川店 ☎(06)6709-2211代 | ■芦屋店 ☎(0797)35-1194代 |
| ■八尾久宝寺店 ☎(072)925-2200代 | ■三田店 ☎(079)559-2211代 |
| ■中環大阪店 ☎(06)6783-2211代 | ■神戸店 ☎(078)371-2211代 |
| ■環屋川本店 ☎(072)829-2211代 | ■新長田店 ☎(078)621-2211代 |
| ■枚方家具園地店 ☎(072)836-2211代 | ■明石店 ☎(078)927-2211代 |
| ■高槻店 ☎(072)683-2211代 | ■加古川店 ☎(079)426-2211代 |
| ■茨木店 ☎(072)622-2211代 | ■高砂店 ☎(079)443-2211代 |
| ■箕面店 ☎(072)726-5522代 | ■姫路店 ☎(079)282-2211代 |
| ■豊中熊野店 ☎(06)6853-2220代 | ■福崎店 ☎(0790)22-2211代 |
| ■豊中店 ☎(06)6848-2211代 | ■網干店 ☎(079)272-2211代 |
| ■川西店 ☎(072)759-2201代 | ■龍野店 ☎(079)162-2235代 |
| ■北伊丹店 ☎(072)780-5211代 | ■赤穂店 ☎(079)145-2211代 |
| ■伊丹店 ☎(072)775-2211代 | ■山崎店 ☎(0790)62-5171代 |
| ■東園田店 ☎(06)4960-4000代 | ■山崎店 ☎(079)293-2211代 |

■本社/姫路市南畝町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

**お寺の広報を
サポートします!!**

弊誌制作チームが、印刷物の「デザイン」からお寺を魅せるノウハウを提供します。お寺の想いを地域社会にスムーズに伝えようとするとき、洗練された「デザイン」はきっとその助けになります。興味を持たれた方は一度、お問い合わせください。

フリースタイルな僧侶たち編集部
 Tel 050-5583-4338
 Fax 050-3730-9864
 info@freemonk.net

**「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」に
広告を出しませんか?**

本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスペイン料理店まで、さまざまな場所に設置しています。設置箇所は現在も拡大中!! (ウェブサイトで確認できます)
 興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

媒体情報

仕様: A4サイズ/12頁/カラー
 発行部数: 13,000部
 (2015年4月現在)

公益財団法人 浄土宗ともいき財団

心といのちの電話相談室

☎ 03-3436-6823

相談受付: 毎週月曜日 10:00~16:00

(国民休暇、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしてください。

『心といのちの電話相談室』の特徴

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

『心といのちの電話相談室』の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人浄土宗ともいき財団内
 TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ: <http://tomoiki.jp>

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索